

五箇 宏子 38	金子 早苗 38	蒲生ユキ子 39	小林 利江 39	桐澤 保勝 39	奇藤 悦子 39	新田イチ子 39	荊部 公恵 39	田代登喜子 40	春原 功 40	永岡 倉子 40	鳥塚 満 40	多田喜久子 40	森田 正義 40	白居 孝 40	八木 敏行 41	須藤栢三郎 41	嶋田 孝雄 41	五百川 武 41	宮田 立治 41	宮田 敏江 41	佐瀬 耕一 41	三田村 伸 41	坂本 百子 41	伊東地志子 41	佐々木 孝 41	大山 千代 41	福原 一雅 41	福原ふさ子 41	山本 利子 41	前川 礼子 41	福沢 栄子 41	飯島 誠子 41	黒嶋 賢 41	黒嶋 和子 41	内田 勇徳 41	有山 慶子 41	鈴木 芳子 41	小倉雅則子 41	大西 勇 41	中野 絹子 41	皆川 茂 42	知野 正子 42
鳥崎八重子 42	網田 キヨ 42	矢野 欣一 42	徳江 義弘 42	野村 豊 42	栗原 春代 42	佐藤 博 42	高橋 徳次 42	木村 節子 42	今野とも子 42	土田 信幸 42	小野 明美 42	池田ミチ子 42	宮崎 幸隆 42	山本 夏代 42	小林 良雄 42	廣田 廣子 42	鈴木富久子 42	平川 國彦 42	平川 真澄 42	加藤 コマ 42	森 直弘 43	中山市太郎 43	釜 与志雄 43	奥田 雅敬 43	神山記代美 43	松本 光男 43	滝本 洋子 43	大沢 秋子 43	斎藤 至 43	小坂橋 茂 43	佐藤 弘幸 43	佐藤いさ子 43	小松 慶子 43	坂田 忠男 43	二ツ森信蔵 44	大場秀太郎 44	池田 礼一 44	浦田純二郎 44	宮家 衛子 44	島田 昭二 44	和田浜幸枝 44	久保 勇 44

渡辺 正一 44	小林 眞 44	山崎まさ子 44	山口三千子 44	丸山 豊 44	鈴木 政子 44	川下 省一 44	小林 明美 44	岡不しづ子 44	新野 早苗 44	知花 伸光 45	奇藤 新一 45	林 政敏 46	有満ふき子 46	関 健二 46	矢崎久美子 48	浜田 恭寿 49	小林勇起雄 49	小池久美子 49	木屋ふみ子 49	濱田 榮 49	菅野ミエ子 49	有坂 律子 49	村上 弘子 49	山口 広明 49	山口 真弓 49	平山 芳三 50	榎野 徳光 50	檜山 俊則 51	太田 克典 52	渡辺美代子 52	菊永 美也 54	佐々木光江 55	田中美佐子 55	(協)岩城 健治 58	齊藤 静代 59
----------	---------	----------	----------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	---------	----------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-------------	----------



全国の会員から
維持費、名簿代金
ご協力に感謝します

会長 五百川 武

平成元年度に六十周年の記念事業として会員名簿を発行いたしました。寄付金をいただいた会員には、すべて名簿を発送いたしました。昨年九月の時点で名簿が一万余

冊あり、幹事会で名簿を活かす最善の策として、未購入の会員の方々へ送ることを決定し、「ともかき」とともに発送しました。幹事会としても、発送費の問題、会員の方々に押しつけにならないか等、議論が出ましたが、結果は、会計報告にありますように、多数の会員のご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

しかし、中にはおしかりのお手紙もあり、また、会員名簿も全く手掛りのない学級など、七十周年の名簿発刊に向けての課題も残っております。

今後の課題として、現在の残高を取崩さず、七十周年に向けて、名簿作成等の費用を準備金として積立たいと考えております。

今年度の活動費の内訳を掲載しておりますが、活動を続けるには年間七十万円の費用が見込まれます。この活動費を会員の皆様に、維持費として一口千円として広く会員のご協力をお願いする次第です。

また、「ともかき」をよりよい広報とするため、会員の皆様のご意見・ご投稿、級会などのご様子をお知らせ下さい。

今回のことを通じて、同窓会活動が、全国の会員の皆様に支えられていることを実感し、幹事一同感激しております。

本当にありがとうございました。

北原三代子
奨励基金

(昭和15年4月、昭和38年3月まで定時制家庭科教諭として勤務)

一、趣旨

この基金は故北原三代子先生より寄贈された一拾壹百万円を基金とし、先生並に遺族の意志に則って母校生徒のため使うものとする。

二、運営

この基金の元金はそのまま定期預金として積立て、その利息により毎年卒業生の内、優秀な生徒に対して、北原奨励賞を授けるものとする。

三、管理

この基金の管理は定時制同窓会「青葉会」が責任をもって当るものとする。